

大建第 680 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

大口市長 隈元



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

道路整備につきましては、かね日頃から格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
また、大口市を經由しております国道 267 号、268 号および 447 号の整備促進につき
ましても、木ノ氏バイパスおよび真幸トンネル等の採択を賜り、国土交通省をはじめ
関係者皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

さて、本市の今後の道路行政については、「災害に強いみちづくり」として、意見等
の回答を、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

《連絡先》鹿児島県大口市建設課

住 所) 〒895—2511

鹿児島県大口市里 1888 番地

電 話) 0995—22—1111 (243) 若松

F A X) 0995—22—5344

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県大口市

- ・目指す道路づくりは住民の意見が必ずしも反映されておらず、生活者の視点からの道路づくりが必要である。
- ・画一的な傾向であったが、歴史、文化、風土等特色のあるまちづくりに合わせた道路づくりが必要である。
- ・地域で必要とされる道路は着実に整備していただき、そのための道路整備財源の確保をお願いする。

②－1地域の現状と抱える問題

鹿児島県大口市

○現 状

当市は九州山地に囲まれた盆地で、国道267・268号及び447号が交差する鹿児島県北薩地域の要衝の地であるが、山間部においては冬季の凍結や、豪雨期の土砂崩壊による交通止めなどで孤立化する事態がしばしば起きている状況であります。

また、平成18年度の豪雨災害時には低地の道路が冠水し、通行止めによる生活物資の輸送停滞が生じた、自衛隊の派遣要請においても車輛での交通手段に支障をきたした経緯があります。

○課 題

- ・低地の道路冠水対策など緊急輸送用道路の重点的整備
- ・幹線道路と生活道路の区分(バイパス)整備
- ・冬季の山間部凍結対応策(トンネル)整備

②－2地域の目指すべき将来像

鹿児島県大口市

1. 災害に強いみちづくり

・本市では、自然災害(台風及び豪雨・積雪等)による通行止めが多発しているため、迂回路を考慮した緊急輸送道路ネットワークの形成及び
法面崩壊等がおこりにくい構造の道路づくりの整備により、災害に強い安全なまちづくりを目指したい。

2. 安全・安心な生活を支援するみちづくり

・本市では、救急病院等、特に脳神経外科病院へのアクセスする道路の整備や、救急車・消防車等緊急車両が通行できない狭い道路の整備に
より安全・安心なまちづくりを目指す。

3. 市町村合併に対応するみちづくり

・新伊佐市管内の公共施設等の拠点をアクセスする道路の整備、交通形態の変化に伴う生活道路の整備を目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

鹿児島県大口市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
	※伊佐市合併後検討し、整備計画を作成する予定である		